

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立中小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立中小学校	http://edu-mizuho.com/sunaka/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立中小学校	http://edu-mizuho.com/sunaka/	http://edu-mizuho.com/sunaka/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
☐ 実施していない

<特記事項>

- ・授業参観等において、授業公開を行っている。
- ・HPにて、外国語科（英語）や外国語活動の授業の様子を積極的に伝えている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

- ・ 1. 2年生は外国語活動の授業を年27時間位置付けることで、英語に慣れ親しむ機会が増えた。3年生以上は教科として授業・評価を行うことを通して、児童が身に付けた力やさらに伸ばしたい力について、意識して授業を行った。
- ・ 児童が英語により親しめる環境を整えることで、英語という言葉や様々な国の文化について、児童の興味関心を引き出すことができた。
(英語に関わる掲示コーナーを設置し、ALTが定期的に内容を更新)
(特別教室や各教室名の英語表記プレートの設置)
(給食時間にALTによるTV番組の放映(各国の文化の紹介・クイズ・読み聞かせ等))
(外国語の授業以外の場でのALTとの交流)
- ・ 地域の方(中小応援団)にも授業の参加していただき、目的意識をもって外国語を使うよう単元を構成したり、苦手意識をもっている児童に寄り添ったりして、外国語の授業の充実を図っている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

- ・ 自分から積極的に意見を述べたり、仲間とコミュニケーションを図ったりする機会を意図的に増やしている。英語を用いて自分の思いを伝え合い、理解しあう喜びを味わえるよう、授業改善に努めている。
- ・ 英語を専門としている教師が少ないことと、実際の英語の授業を参観して学ぶ機会が少ないため、児童の外国語科(英語)の授業で身に付いた力を客観的に判断することに弱さがある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・ 授業のねらいとそれに迫るための手立てを明確にし、ALTとHRTが連携を密にして、児童が主体的に学ぶ授業づくりを目指す。
- ・ 瑞穂市教育支援センターの教職員研修指導員による外国語科の授業に対する指導を研修の機会として活用して学ぶ。その機会に他の教師も授業を参観して学べるようにする。
- ・ 英語教育推進教師が研修会で学んだ他校の実践等の情報を職員に広げ、よりよい授業のイメージを共有する。